

信州大学医学部附属病院 血液内科に通院・入院された患者様のご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 27 年 11 月 2 日

「中枢神経浸潤を合併した多発性骨髄腫」に関する観察研究を実施しております。

信州大学医学部医の倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、過去の臨床データを用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
課題名	中枢神経浸潤を合併した多発性骨髄腫の予後因子の検討：多施設後方視的調査研究
研究機関	信州大学医学部内科学第二
研究責任者	信州大学医学部内科学第二助教 中澤英之
研究実施期間	2015 年 11 月 2 日～2018 年 12 月 31 日
研究の意義、目的	近年様々な新規薬剤の登場によって多発性骨髄腫の治療効果には改善傾向が見られます。しかし病気が中枢神経浸潤をきたすことが稀ながらあり、その場合の治療法はまだ発展途上です。多発性骨髄腫の治療に携わる全国の病院が協力し、患者さんのデータを集計・比較検討して、至適治療方法の確立を目指します。
対象患者様	2018 年 12 月 31 日までに当院で多発性骨髄腫の診療を受け、中枢神経浸潤が疑われた方。
利用検体	検体は利用しません
利用カルテ情報	年齢、性別、家族歴、症状、臨床診断、検査結果
その他	この研究は、金沢大学医学部他、全国の血液内科と協力して実施されます。

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究に検体を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

この研究でご自分の検体、診療記録の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先：信州大学医学部附属病院

担当者 血液内科 中澤英之（電話：内科学第二医局 0263-37-2634）